

# 山田小学校だより (Metamorphose)



文責 校長 谷川晴峰

## 「交通安全」に関する意識を高めましょう!

気温が急に高くなり、一足飛びに初夏が訪れたような天気が続いています。(今日は、平年並みですが)本格的に、運動会の練習が始まりました。水分補給のお茶や汗拭きタオルを、必ず持たせてください。

さて、平成30年度の春の全国交通安全運動【4月6日～15日】は終わりましたが、定められた期間だけ意識するという考え方は間違いです。長崎県は、「交通事故を根絶するためには、県民一人ひとりが交通安全に関する正しい知識と交通道徳を身につけることが重要である。そのためには、家庭、学校、職場、地域等あらゆる機会を通じて交通安全意識の高揚を図るとともに、交通安全教育指針等に基づく安全教育を実施して自主的な交通安全活動を推進する。」と宣言し、次のような推進事項を設定しています。

\*特に、下記の項目については確認と実践をお願いします。

- ① 高齢者の交通事故防止
- ② 子供の交通事故防止
- ③ 飲酒運転の根絶
- ④ 脇見・ぼんやり運転の防止



- ⑤ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ⑥ 夕暮れ時における早め点灯，雨天・曇天時の点灯
- ⑦ 走行中の携帯電話使用の禁止
- ⑧ 暴走族の追放



昨日も、「交通安全」に関する文書を発出しました。しつこいようですが、子供たちの命を守るためです。近年、高齢者による交通事故が多発しており、大きな社会問題となっています。誰人（だれびと）も歳をとります。「生老病死」の定めから、逃れることはできません。しかし、安全を意識した生活は子供たちにもできるはずです。大型連休も目前です。気を引き締めていきたいものです。

私自身も、出退勤時の運転で肝を冷やした経験があります。直線道路、カーブのきつい道路に拘わらず、中央線をはみ出して進んでくる車両に、何度もビックリしました。途中にトンネルがありますが、無灯火のまま走っている車も少なくありません。自車の視界確保だけではなく、他車に自分の位置を知らせる役目もあるはずです。最近では、信号待ちの折にスマートフォンでも見ているのでしょうか、赤から青に変わっても発進しない車も見かけます。もっと怖いのは、運転中に携帯電話で話したり、メールを読んだりしている人々の姿を頻繁に見ることです。「注意一秒、怪我一生」という標語の重さを忘れてはいけません。特に、上記の⑤については、ついつい意識が低くなりがちです。運転手も同乗者も、何よりも【安全最優先】という意識を堅持することが大切だと思います。

最初に勤務した学校で、職員旅行に行きました。その前日、大型バイクをこよなく愛していた先輩から「これで楽しんできてね!」と金一封をいただきました。彼は自分一人でツーリングに出かけたのですが、大型トラックに接触され、帰らぬ人となりました。「あのとき、皆さんと一緒に旅行に行っていたら・・・。」彼のお母さんの口からこぼれた言葉が、そしてとめどなく流れ落ちた涙が、今でも忘れられません。

命・・・一つしかありません。交通安全の意識高揚を! 運転をする方は、今日も明日も安全運転で!